

お知らせ

磁気共鳴専門技術者認定機構

「上級磁気共鳴専門技術者」の設置について

1. 目的

現在 200 名を超える磁気共鳴 (MR) 専門技術者が、一定以上の優れた知識・技術レベルに達していることは疑いのない事実である。しかし、今後客観的に他学会や社会から MR 専門技術者制度ならびに MR 専門技術者が高い評価を受けるためには、制度の充実と学術レベルの高さを証明しておく必要がある。そのために、一定以上の優れた知識・技術に加えて、更新前の 5 年間に学術成果の実績を残している者に上級磁気共鳴専門技術者認定を与える。

現存の MR 専門技術者の更新制度や資格などは、これまでと全く変わることなく、専門技術者として十分に誇れるレベルとして継続する。

2. 上級磁気共鳴 (MR) 専門技術者を取得するには

「MR 専門技術者」は従来通り、更新ポイント 100 点 (講習会の受講のみでも可能) で更新される。

従来の「MR 専門技術者」の更新ポイントに加えて、学術成果 (更新カード表面上段) のみで 100 点以上を納めている者を「上級 MR 専門技術者」として認定する。

したがって、「上級 MR 専門技術者」を取得するためには、本来の自己研鑽成果の最低取得 40 点に加えて学術成果 100 点の 140 点以上が必要となる。

ただし、MR 専門技術者を取得して 5 年が経過しないと取得できない。

3. 上級磁気共鳴 (MR) 専門技術者の開始と維持

2 年後の 2011 年 4 月の第 1 回更新時から始める。1 回目に限って 1 年間の猶予を認める。その後は、各自 5 年毎の更新時に上級 MR 専門技術者に昇格できる機会を設ける。

上級 MR 専門技術者であっても、更新前 5 年間に学術実績が上記ポイントに達しない場合には資格を失う (MR 専門技術者に戻る)。

4. 効果

- (1) 患者や社会に機構と専門技術者の習熟度の高さをアピールできる。
- (2) 専門技術者のさらなる学術向上意識を促す。
- (3) MR 専門技術者認定機構が学術的にもレベルの高い組織であることが証明できる。
- (4) 地域指導者や学術研究指導者を選考する時の明確な基準になる。
- (5) MR の知識・技術の発展と普及がさらに効率的に活性化・充実を図ることができる。

以上

問合せ先：大阪大学医学部附属病院医療技術部放射線部門 土井 司

E-mail : doitks@hp-rad.med.osaka-u.ac.jp